

# UDD触媒 D-coat



SIAA マークは、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

## 施工・技術マニュアル

株式会社オフィス・タカハシ

〒842-0103

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲 6036

TEL: 0952-53-8234

FAX: 0952-53-8354

web: <http://www.saga-shop.co.jp/tio>

mail: [saga@saga-shop.co.jp](mailto:saga@saga-shop.co.jp)

# 00,01,A80 【 ノーバインダー 】

## 1. 下地処理・準備

- ① 悪臭対策の場合、悪臭の発生源を探し発生を止める。
- ② 油脂・汚れ等を除去する。(推奨品：無機イオン洗浄液 DR-1)
- ③ 上記で十分に脱脂出来ない場合は IPA：イソプロピルアルコール（以下 IPA）等を使用し、完全に脱脂する。

## 2. 施工

- ① 塗布面に汚れが無い事を良く確かめる。
- ② スプレーガン等で液だれをおこさないように均一に塗布する。  
※ノズル径は 0.5mm 程度を用い霧状に、標準塗布量に達するまで繰り返し塗布する。

## 3. 施工手順 対象物：(カーテン・クロス・じゅうたん・木・紙などの吸水面)

作業	内容	標準塗布量	養生
下地調査	吸水面であるかを確認する。 臭いの発生源を見つけ除去等の対策をする。		
下地処理	臭いの発生を止める。 カビ・埃・油脂・汚れ等を除去する		
上塗り	塗布する。染み込む場所は、染み込ませる。	25～100ml / m <sup>2</sup>	0分～1時間

## 4. その他の事項

- ① コーティング剤の用具は、専用の物を用意し、他の液剤と分けて使用して下さい。
- ② 用具の洗浄は水を使用して下さい。
- ③ コーティング剤は必要量のみ取り出し、使い切ってください。余った場合は元の容器に戻さない事。残りのコーティング材は密閉し、冷暗所で保存して下さい。

## 5. 注意事項

- ① MSDS をよく読み、取り扱い中は保護手袋を使用し、皮膚に直接触れない事。  
ナノ物質の施工の為、保護眼鏡・マスク（シゲマツ DR77R 又は DR28U 2W 以上の性能品）を着用する事。
- ② 取り扱い後は、手洗い、うがいを十分行って下さい。
- ③ 誤って目に入った場合は、水で洗眼して下さい。
- ④ 保管は子供の手の届かない冷暗所に保管する事。
- ⑤ 触媒成分が沈殿しますので、容器を軽く振ってご使用下さい。
- ⑥ シミになる場合があります。必ず小さな範囲で使用し、少し時間をおいてから状況を確認し、問題がなければご使用下さい。
- ⑦ 養生時間は室温や湿度、基材により変化する場合があります。湿度が高い場合は乾燥時間が長くなる場合があります。

## 02 【水系無機バインダー】

### 1. 下地処理・準備

- ① 悪臭対策の場合、悪臭の発生源を探し発生を止める。
- ② 油脂・汚れ等を除去する。(推奨品：無機イオン洗浄液 DR-1)
- ③ 上記で十分に脱脂出来ない場合は IPA 等を使用し、完全に脱脂する。

### 2. 施工

- ① 塗布面に汚れが無い事を良く確かめる。
  - ② スプレーガンで液だれをおこさないよう均一に塗布する。
- ※ノズル径は 0.5mm 程度を用い霧状に、標準塗布量に達するまで繰り返し塗布する。

### 3. 施工手順 対象物：(あらゆるものに対応、特に金属や石などの無機撥水面)

作業	内容	標準塗布量	養生
下地調査	臭いの発生源を見つけ除去等の対策をする。		
下地処理	臭いの発生を止める。 カビ・埃・油脂・汚れ等を除去する		
上塗り	塗布する。染み込む場所は、染み込ませる。	25～30ml/m <sup>2</sup>	24 時間 (20℃) 温風加温が理想

### 4. その他の事項

- ① コーティング剤の用具は、専用の物を用意し、他の液剤と分けて使用して下さい。
- ② 用具の洗浄は水を使用して下さい。
- ③ コーティング剤は必要量のみ取り出し、使い切ってください。余った場合は元の容器に戻さない事。残りのコーティング材は密閉し、冷暗所で保存して下さい。

### 5. 注意事項

- ① 取り扱い中は保護手袋を使用し、皮膚に直接触れない事。  
ナノ物質の施工の為、保護眼鏡・マスク (シゲマツ DR77R 又は DR28U 2W 以上の性能品) を着用する事。
- ② 取り扱い後は、手洗い、うがいを十分行って下さい。
- ③ 誤って目に入った場合は、水で洗眼して下さい。
- ④ 保管は子供の手の届かない冷暗所に保管する事。
- ⑤ 触媒成分が沈殿しますので、容器を軽く振ってご使用下さい。
- ⑥ シミになる場合があります。必ず小さな範囲で使用し、少し時間をおいてから状況を確認し、問題がなければご使用下さい。
- ⑦ 養生時間は室温や湿度、基材により変化する場合があります。湿度が高い場合は乾燥時間が長くなる場合があります。

## 03 【水系アクリルシリコンバインダー】

### 1. 下地処理・準備

- ① 悪臭対策の場合、悪臭の発生源を探し発生を止める。
- ② 油脂・汚れ等を除去する。(推奨品：無機イオン洗浄液 DR-1)
- ③ 上記で十分に脱脂出来ない場合は IPA 等を使用し、完全に脱脂する。

### 2. 施工

- ① 塗布面に汚れが無い事を良く確かめる。
- ② スプレーガンで液だれをおこさないよう均一に塗布する。  
※ノズル径は 0.5mm 程度を用い霧状に、標準塗布量に達するまで繰り返し塗布する。

### 3. 施工手順 対象物：(ビニールクロスなど有機撥水面)

作業	内容	標準塗布量	養生
下地調査	臭いの発生源を見つけ除去等の対策をする。		
下地処理	臭いの発生を止める。 カビ・埃・油脂・汚れ等を除去する		
上塗り	塗布する。	25～100ml/m <sup>2</sup>	6 時間

### 4. その他の事項

- ① コーティング剤の用具は、専用の物を用意し、他の液剤と分けて使用して下さい。
- ② 用具の洗浄は水を使用して下さい。
- ③ コーティング剤は必要量のみ取り出し、使い切して下さい。余った場合は元の容器に戻さない事。残りのコーティング材は密閉し、冷暗所で保存して下さい。

### 5. 注意事項

- ① MSDS をよく読み、取り扱い中は保護手袋を使用し、皮膚に直接触れない事。  
ナノ物質の施工の為、保護眼鏡・マスク (シゲマツ DR77R 又は DR28U 2W 以上の性能品) を着用する事。
- ② 取り扱い後は、手洗い、うがいを十分行って下さい。
- ③ 誤って目に入った場合は、水で洗眼して下さい。
- ④ 保管は子供の手の届かない冷暗所に保管する事。
- ⑤ 触媒成分が沈殿しますので、容器を軽く振ってご使用下さい。
- ⑥ シミになる場合があります。必ず小さな範囲で使用し、少し時間をおいてから状況を確認し、問題がなければご使用下さい。
- ⑦ 養生時間は室温や湿度、基材により変化する場合があります。湿度が高い場合は乾燥時間が長くなる場合があります。

# G04,G05 【 ガラスコート 】

## 1. 下地処理・準備 (火気厳禁)

- ① 油脂・汚れ等を除去する。脱脂に関しては IPA 等を使用し、完全に脱脂する。油等の異物は付着性を阻害する危険があります。
- ② 主剤に沈殿物がなくなるまで充分攪拌し、硬化剤を混合させ充分に攪拌する。調合後オープンな状態にして放置しておきますと、皮張りを起こす事があります。調合後は必ず蓋をして下さい。

**2液性(質量比) 主剤(1):硬化剤(1)**

## 2. 施工

- ① 塗布面に汚れが無い事を良く確かめる。
- ② 刷毛・コテ刷毛・ローラー、又はスプレーガンで均一に塗布する。

## 3. 施工手順 対象物：(石材・モルタル・他) 長尺シートには不向きです。

作業	内容	標準塗布量
素地調整	①下地処理・準備を行う。 ②濡れている場合は完全に乾燥させる。	
塗布	①容器を振り、液剤を充分に攪拌する。 ②ハケ等で塗布ムラ、液ダレが無いように塗布する。 ③作業中適時、液剤を攪拌する。 ※調合後の使用可能時間:2時間(20℃)	25~100ml/m <sup>2</sup>
養生期間	指触乾燥6時間 乾燥24時間(20℃) 完全乾燥90日(20℃) <b>強制乾燥の場合 乾燥 30分(60℃)</b> <b>※ジェットヒーター等を使用する</b>	

◆ 養生期間内で溶剤がかかると、ちぢみ、ふくれ、剥離等の問題が起こる恐れがあります。

### 施工上の注意事項

- ① 作業する時は換気を良くして火気には充分注意して下さい。
- ② 塗り重ねを必要とする場合には、塗膜にタック(粘着性)が残っている間に行って下さい。塗膜が乾燥するとハジク恐れがあります。
- ③ 補修コーティングを行う場合は、サンディングにより目粗し又は除去後、再コーティングして下さい。
- ④ 無垢木材への塗布は、染込まない余分な液剤を拭き取って下さい。
- ⑤ 清掃時に用いた酸性の薬剤や前処理剤等の強アルカリの薬剤が残留していると白化反応や硬化不良、剥がれが起こる場合があります。事前に中和させる等の対策をして下さい。
- ⑥ 石材や目地モルタルに塗布する場合は、水分濃度を 10%以下に調整後、塗布する事。水分濃度が高いと硬化不良、白化、剥がれの原因となります。温風等で水分濃度を充分に調整して下さい。
- ⑦ 基材の水分濃度、施工場所の湿度、染み込んだ油分、吸水率の差による硬化不良やしみ、柚子肌、ムラ、白化する場合があります。必ず小さな範囲で使用し、少し時間をおいてか

ら状況を確認し、問題がなければ使用して下さい。

- ⑧ 岩盤浴施設など設計上の都合、施工面に水分が上がってくる事により、吸水率が増加する場合があります。その場合も上記⑥に基づいて下さい。
- ⑨ チョーキング現象や光沢不足、硬化不良、が起こるので、85%以上の相対湿度の環境で塗布しない事。また、屋外を施工する場合、降雨や降雪時及びその恐れがある時は施工を中止する事。
- ⑩ 塗膜が厚くなると塗膜割れの原因となります。
- ⑪ 基材の温度（注：気温ではない）が6℃以上ある環境で、塗布作業を行う事。
- ⑫ 基材によっては変質・変色する場合があります。必ず小さな範囲で使用し、少し時間をおいてから状況を確認し、問題がなければ使用して下さい。
- ⑬ 使用開始は、最終塗布後 24 時間以上の養生が望ましい。
- ⑭ 強制乾燥をかけることで乾燥時間を早めることができます。

#### 4. その他の事項

- ① コーティング剤の用具は、専用の物を用意し、他の液剤と分けて使用して下さい。
- ② コーティング剤は必要量のみ取り出し、御使用の都度、調合し使い切して下さい。  
余った場合、元の容器に戻さない事。
- ③ 残りのコーティング剤は密閉し、冷暗所で保存して下さい。残りが少なくなったら容器を入れ替え、コーティング剤と容器の隙間を少なくする。
- ④ 用具の洗浄には IPA を使用して下さい。

#### 5. 注意事項

- ① MSDS をよく読み、取り扱い中は保護手袋を使用し、皮膚に直接触れない事。必要に応じて保護眼鏡・防毒マスクを着用して下さい。
- ② 取り扱い後は、手洗い、うがいを充分に行ってください。
- ③ 誤って目に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ④ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、必要に応じて出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑤ 誤って飲み込んだ時は、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑥ 保管は子供の手の届かない冷暗所に保管する事。
- ⑦ コーティング剤を破棄する時は産業廃棄物として、処理して下さい。